

実施内容

社会構想会議では、デジタル技術を学んだ高専生や大学生などを対象に、地域の行政と共に地域の社会課題を抽出し、課題解決につながるアプリを作成し、行政に試験運用していただくことで、地域の社会課題解決につながる運動を展開しています。LOMやブロック、地区協議会と連携し全国で運動を展開していくことで、デジタルの活用を通して、安心して住み暮らし、働きやすい魅力的で理想的な地域の未来を実現するため本フォーラムを実施します。

背景

なぜ必要?

デジタル化が加速する中、2030年にはデジタル人財が不足すると推計されている現状があります。地域が抱える社会課題の解決には、若者のアイデアとデジタルの力を活用できる地域社会の環境をつくる必要があります。

目的

目指すゴールは?

住み暮らしやすい魅力的な地域をつくるために、未来ある若者たちと行政と青年会議所が連携し、社会の課題をデジタルを活用し解決できる、地域のデジタル人財を増やすことを目的とします。

手法 地域でどんな展開ができる?

■社会課題解決事業

社会課題解決型事業とは、参加する大学生や高専生が、日本のローカルで起きている課題を体感し、それぞれのアイデアや想い、培ってきた専門性をもち寄って、新たな解決策を描き、アプリやシステムを開発することで地域課題を解決する一歩目を踏み出す取り組みです。

事業を実施することで、低予算で、行政を巻き込み、アイデアやシステムを提供して社会課題の解決につなげることや、デジタル人財の育成が可能なほか、大学や高専等の教育機関と地域課題を解決できる持続可能な協力連携体制が構築できます。

事業としてはまちづくり事業、青少年育成事業として活用できます。

<参考資料>社会課題解決事業事例集 + 類似事例集

<https://drive.google.com/file/d/1OeHWRJhNJfTI5ZtPUGM1O71zDzMvOhpO/view?usp=sharing>

■LOMや協議会の社会課題解決事業開催事例集

2024/3/20~22

宮崎JCと宮崎の高専生たちと社会課題解決事業を実施しました。

<参考資料>社会課題解決事業in宮崎 開催報告書

https://drive.google.com/file/d/1UugCjoEp_RQ_Emf4iVJN49Q_vm9tftpL/view?usp=sharing

実現できる理想の地域の未来

地域の社会課題がデジタルの力によって解決され、安心して住み暮らし働き、子供を生み育てやすい、地方分散型社会の実現に向けた魅力的な地域へつながります。